

コラムみらい

2026年(令和8年)1月号 454号



第1分科会



第2分科会



第4分科会



第3分科会



第5分科会

〈写真は第35回経営研究フォーラムの各分科会より〉

同友会ってどういう会?



入会申込フォーム



魅力動画



行事案内



Facebook

〒901-0152

沖縄県那覇市字小禄1831番地1 沖縄産業支援センター603号

☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208

<http://www.okinawa.doyu.jp>

E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

代表理事年頭挨拶

仲間を増やすことで
平和で豊かな国に！

代表理事 座間味 亮



一般社団法人沖縄県中小企業家同友会会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。日頃から同友会活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

昨年は「新たなステージ」で、沖縄同友会も一般社団法人化になり、30年ぶりに新支部サンライズを設立致しました。また、

中同協が労使見解を発表してから50年目になります。私自身沖縄同友会代表理事2年目であります。改めて同友会理念三つの目的「よい会社・よい経営者・よい経営環境」「自主・民主・連帯」「国民と地域と共に歩む中小企業」が、良い国を作る事だと実感しております。それゆえに世界中では紛争が収まらない、悲しい現状で御座います。日本も巻き込まれないように、国政に平和を提言していきたいと思います。

日本経済を含め隣国との友好関係や、物価高、人手不足等、世の中の変化のスピードに付いていくのに必死ですが、如何なる環境下においても、同友会理念である「よい経営」の実践を我々中小企業家には今こそ求められております。50年以上前に同友会の先輩方々が、激しい議論を重ね作り上げた労使見解、人を活かす経営を学び直し、総合実践が必要です。そして学びを広めていく事ですばらしい国になります、そのためにも仲間を増やしましょう。労使見解を学ぶ仲間を増やすことで平和で豊かな国になるのです。そのためにも会員のいない空白地域で、仲間づくり活動を続けて行きたいと思いますので、引き続き皆様のご協力をお願い致します。

は、羊のように温かく愛情深く進む一年にしたい。（仲地 治）

新たなステージで人を生かす
経営の総合実践を！

～志を高く持ち、実践は足元から～

代表理事 宮城 光秀



皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。私達は今年度、表題のスローガンで活動を展開しています。沖縄同友会にとって新たなステージとは、昨年4月に法人化して一般社団法人となり、5月に約30年ぶりとなる新支部「サンライズ支部」を設立したこと等です。会内外からの同友会への期待は日を追うごとに高まってきています。

その期待に応えることができるよう、例会やフォーラムで学びを深めると共に、各支部・部会・専門委員会の活動により、人を生かす経営の総合実践を推進しています。

人を生かす経営を実践するため最も有効なことは、企業変革支援プログラムで自社の現状を把握し、社員と共に経営指針を実践することです。しかし、たとえ取り組みが不十分でも慌てないでください。～志を高く持ち、実践は足元から～です。今年も一步一步着実に前進していきましょう。

戦後80年を経た今年は、「中小企業は平和な社会でのみ繁栄を続けることができる」という理念に立脚し、戦前・戦中・戦後の沖縄について学ぶ同友会大学・大学院を2月に開講します。また、第7次ビジョンの最終年度にあたるため、新たに10年ビジョンと第8次中期計画（5年）を策定します。さらに、会員のいない空白地域をなくすため、伊江島などの離島に新支部を設立することも検討しています。

本年も、よい会社・よい経営者・よい経営環境をめざして邁進しましょう。

茶論

営業成績で行き詰つて
いる若手社員が相談に
来た。彼なりに努力は
しているが成果がで
ない。対話して最も気にかかった
のがタイプ（時間効率）・コス
ト（費用対効果）重視の行動で
あつた▼世界有数のIT企業が
米国で急成長を遂げた要因は、
自社製品をアピールするのでは
なく「何かお困りのことはあり
ませんか？」と顧客の悩みを聞
いたことと彼に伝えた。そして
自身の気付いていない潜在的
なニーズを見つけ出し、その解
決策として製品を提案し成約に
つながつたと▼「思いやり」「愛
情」「思いを届ける」といった
「非効率」と思える行動に、会
社の発展や社員成長の鍵がある
と思う。そして、「グイックレス
ポンス」素早い反応とスピーデ
感溢れる動きも大事▼今年は
午年である。動物の馬に例えら
れる年は速さや力強さから、豊
作や健康・発展の象徴とされて
いる。昨年同様、国内外の情勢
は依然混沌としているが、我々
同友会員は白馬のごとく堂々と
走り抜きたい▼因みに筆者の同
級生の干支は馬である。確かに
男女共に情熱的で勇ましい人が
目立つ。早生まれで未年の筆者
は、羊のように温かく愛情深く

新春特集

リーダー今年の抱負

沖縄県中小企業家同友会の会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年七月の全国総会で、中同協の副会長を拝命し、九州沖縄ブロックの担当をさせていただいています。九州各県の同友会運動推進を支援する立場だと認識して、緊張感をもち取り組んで参ります。

中小企業家同友会の発展は、その地域の発展につながると確信しています。同友会型企業（労使見解を基に経営指針を実践する経営）を増やすことが仕事づくり、雇用づくり、そして地域づくりになると思います。

九州各県同友会とも連携して九州・沖縄ブロックから、全国に元気を発信できるよう今年一年動いて参ります。沖縄同友会の会員の皆さん、共に同友会運動を推進して参りましょう。



中小企業家同友会
全国協議会副会長に
就任して

中同協副会長
喜納 朝勝

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、当支部の活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年は、地域の活力をより高め、会員の皆さまのお役に立てる支部づくりを一層進めてまいります。社会情勢の変化は大きいですが、だからこそ、「つながり」と「支え合い」を大切にしながら、明るく前向きに歩んでいきたいと考えております。

皆さまとともに、新しい年を希望する一年にしていければ幸いであります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



「つながり」と
「支え合い」を
大切に

北部支部長
高木 朋子

新年あけましておめでとうございます。

いつも（一社）沖縄県中小企業家同友会中部支部の活動にご参加・ご協力いただき、心から感謝申し上げます。

本年の今年は、「前へ踏み出す」「スピード感」の年と言われます。物価高や人手不足など課題も多いですが、だからこそ、一人で抱え込まず、同友会の仲間同士で学び合い・語り合い・支え合いながら、一步ずつ前進していきたいと思います。

皆さまとともに、新しく地域社会、みどりの会に参画していきたいと思います。

私自身もリサイクル事業を通じて、地域に必要とされる会社づくりを実践してまいります。

本年も中部支部らしく、明るく前向きに一緒にできれば幸いであります。



地域に
必要とされる
企業に挑戦！

中部支部長
玉城 栄

二〇二六年 明けましておめでとうございます。旧年中も大変お世話になりました。

沖縄県中小企業家同友会の皆様のお力でサンライズ新支部を発足いただきありがとうございます。

昨今は、変化の激しい大激動の世の中ですが、未来に光を！希望を！夢を！持ち続け、地域の仲間達と「よい会社づくり」、「よい経営者づくり」、「よい経営環境づくり」を通して地域社会、みんなの幸せづくりに貢献できるよう歩み続けてまいります。

今後ともサンライズ支部一同宜しくお願いいたします。

みんなに「幸」あれ！



地域社会、
みんなの
幸せづくりに
貢献！

サンライズ支部長
具志 直人

新年明けましておめでとうございます。昨年は浦添てだこ支部の活動に皆様が注いでくださった情熱と行動に心より敬意を表します。

今年は、私達中小企業にとってまさに「攻めの一年」。変化の波を待つではなく、良い波を自ら創りだし未来を切り開く一年にしてまいります。

本年午年は、「挑戦と実践」を合言葉に、経営指針の深い実践、仲間同士の強い連携、新たな事業機会の創出に支部全体で取り組んでまいります。

一人では難しいことも仲間ともに成長し、地域を力強く牽引する一年にしていきます。

本年も浦添てだこ支部をどうぞよろしくお願い申し上げます。



「挑戦と実践」を
合言葉に！

浦添てだこ支部長
田場 英行

会員の皆様と共に学び合い、高め合い、そして那覇という地域をより魅力ある場所にしていくために、支部としてもさらなる挑戦と成長を目指してまいります。



那覇支部の スローガン2025

那霸支部長
武島 多加雄

新年明けましておめでとうござります 旧年中は南部支部の活動にご協力いただき感謝申し上げます。

引き続き南部支部は、例会や学習会等を開催して共に学び・成長し続けることで地域と共に歩む中小企業集団を増やしています。

また、行政や銀行との意見交換を重ねて中小企業の切実な声を届け、連携を築くことができました。バスツアーや懇親会を通して親睦を深め経営者が本音で語れる環境を今後も続けていきます。

二〇二六年は午年であります。新生南部支部は競走馬のように一気に駆け抜けると同時に、農耕馬のように力強く実りを育む年にしまでまいりますので、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



一気に駆け抜け、
力強く実りを
育む

南部支部長
竹富久

を一層磨き上げ、参加したくなる。参加して良かったと思える支部づくりを進めます。同時に、昨年度施行された宮古島市中小企業振興基本条例を、支部としてどのように活用するのか、より現実的で建設的な議論を始める一年といたします。行政や地域との対話の可能性を探り、私たち中小企業の声を地域の未来に生かしていく足がかりとします。共に学び、共に成長し、仲間とともに宮古島の未来をつくる一年へ。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



宮古島の 未来をつくる 一年に！

宮古支部長
有利 博明

八重山支部は新体制となり初の新年となります。

昨年は「仲間作りと学びで経営の質向上を！」の方針のもと八重山らしく春闘気を大事にした活動を展開し、青森県上十三支部と姉妹支部提携するなど充実した一年となりました。

二〇二六年は会員同士の繋がりをさらに深め、よりよい学びを得られるような行事を積極的に企画していきます。

具体的には二月に宮古支部との合同例会、六月に石垣島でちゃんとふるー例会、八月に青森での例会を予定しています。

そのほか全国離島支部との交流についての動きも加速させます。引き続き存在感あふれる支部を目指して活動してまいりますので、よろしくお願い致します。



より学ぶ 行事を 積極的に企画！

八重山支部長
喜納 正雄

力を尽くします。

また、一人ひとりが自分らしく輝けるよう、学びや挑戦の機会を広げ、互いに支え合う風土をさらさらに深め、碧の会が地域の“希望の拠点”となるよう努めてまいります。

私自身も、日々の仕事に丁寧さを忘れず、挑戦する心を育てながら、経営者として、そして女性部長としての役割をしっかりと果たしていきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



地域の 「希望の拠点」と なる！

碧の会部長
澤城千秋

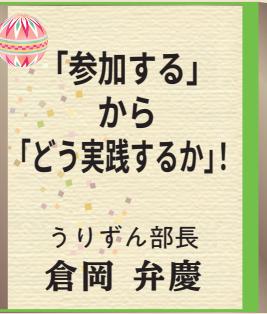
新春特集

リーダー今年の抱負

新年明けましておめでとうございます。
私たち青年経営者部会「うりづん」は、今、変革の時だと感じています。
私ごとながら、県外の同友会会員との交流を経て、同友会の学び方に対する大変刺激を受けました。それを少しでも皆さんに感じてほしいと青年経営者全国交流会への参加を呼びかけて二年。今では二十名弱がうりづんから参加するようになりました。

参加することに意義があったフエーズから、それをどう実践していくかに移ってきたタイミングだと感じています。

これからは、「青年経営者はまづはうりづんに入ろう」と思われるような、学びと実践、を部会内で深めていきたいと思います。

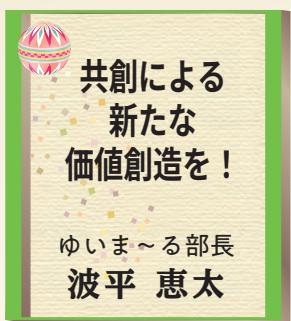


新年明けましておめでとうございます。

ビジネス連携部会では、今年も「共創による新たな価値創造を」をテーマに活動を進めていきます。業種や世代の垣根を越えたピッチイベント「ゆいひつち」をはじめ、交流会や事例共有の場を増やし、気軽に相談し合える関係づくりを大切にしたいと思います。

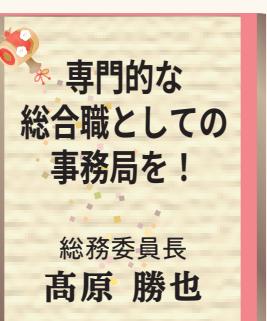
本年は、総務委員会は事務局と連携し支部活動、委員会活動、部会活動の組織運営を議論し、透明性を持った財政の健全な安定化を目指します。特に事務局は、同友会の運営を支える中核機能として会員サポート、経営者の学びと地域経済の発展を支える専門的な総合職として、企画・調整・広報・政策提言まで幅広くサポートしていく事務局に成長できるよう努力します。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。皆様のご健勝をご発展を心よりお祈り申し上げます。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、会員の皆様のご協力により、一般社団法人になり同友会活動を着実に進めることができました。心より感謝申し上げます。

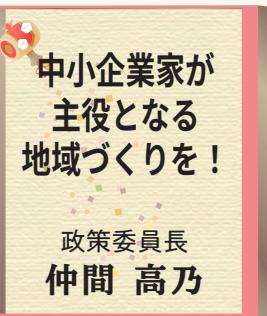


新年あけましておめでとうございます。

本年度、政策委員会は「中小企業が主役となる地域づくり」を軸に、政策と実効の連携を図りながら、活力ある地域社会の実現を目指します。私たちが取り組む地域づくりとは、中小・小規模事業者や個人事業主が安心して挑戦できる「よい経営環境づくり」を整える活動です。

「中小企業魅力発信月間」や景況調査を基にした「政策・要望提言」、「他団体との連携促進」などを推進し、支部・部会・委員会との協働で実効性の高い施策に取り組んでまいります。

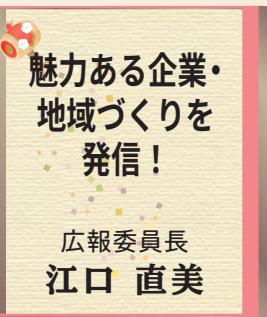
中小企業の発展が地域の未来をつくります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新年あけましておめでとうございます。

月刊広報誌「二ライみらい」を発行し、一〇〇社を越える沖縄同友会会員の学びと活動および地域との連携や取り組みをお伝えしています。昨年の法人化に伴い親しまれたタブロイド判からA4版冊子に変更し、より一層分かりやすく親しみやすい紙面構成になります。同友会HPやSNS発信の充実も進めています。

今年も魅力ある企業づくり・地域づくりを発信し、一緒に活動する企業経営者・個人経営者の皆様の参加をお待ちしています。



「〇一六年度は「学びが行動につながる例会づくり」を全力で推進いたします。経営者同士が本音で語り合い、自社課題に向き合い、互いの実践に刺激を受け、明日からの経営に活かせる気づきと勇気を持ち帰る。そんな例会を一つでも多く生み出すことが今年の目標です。

また、各支部・部会・委員会の会員が主体的に参画し、自らの成長と企業発展につながる体験を得られるよう、プレ例会などのさらなる充実を支援します。

変化の激しい時代だからこそ、「自主・民主・連帯」の精神のもと、仲間と学び合い、実践し、成果を分かち合える同友会を実現し、地域経済の活性化に貢献してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



学びが行動につながる例会を！

例会づくり委員長
普天間 直樹



全会員アンケートにご協力を！

経営委員長
比嘉 良太



「学ぶこと・働くこと・生きること」とは

共同求人委員長
玉城 真由美

新年あけましておめでとうございます。

経営委員会では、沖縄県中小企業家同友会・中長期ビジョンに向かって、経営者が学べる・実践できるように本年も企画運営していきます。

全会員対象のアンケートを集計し、学習会の企画運営に活用したいので、回答のご協力をお願いします。

①経営指針の成文化と実践
②企業変革支援プログラムver.2の登録推進と活用
③全会員へのアンケート実施

本年度も会員企業の発展に寄与できるように邁進しますので、経営委員会の活動にご協力ください。



共に育ち、共に生きる！

社員教育委員長
大田 守章



「学び」で人間力を高め続ける

同友会大学運営委員長
下田 美智代

新年あけましておめでとうございます。

共同求人委員活動は、中小企業が地域に根差し、未来を担う若者と共に成長していくための取り組みです。私たちは、若者が働く喜びを実感できる企業づくりを進めると同時に、「学ぶこと・働くこと・生きること」の本質を、学生や保護者・教育機関の皆さんと共に考えてまいりました。

本年度は共に活動していく会員企業を増やしていくことも力を入れていきたいと考えています。

本年度も「共に育ち、共に生きる」精神を大切にしながら社員の成長、会社の成長を全力でサポートしていきます。

皆さまにとって、この一年が飛躍と充実の年となりますよう心よりお祈り申し上げるとともに、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

旧年中は今期のテーマ「人を生かすチームづくり」に沿った講師陣による社長・社員共育塾を開講することができました。又、合同入社式・新入社員研修会を無事終えることができ、新人フォロー・アップ研修会を開講しました。ひとえに会員の皆様のご理解と協力に支えられ運営することができました。大変感謝しております。

本年も「共に育ち、共に生きる」精神を大切にしながら社員の成長、会社の成長を全力でサポートしていきます。

今年度も同友会大学では、より優れた講師陣による多様な学びの機会を提供し、同友会会員の資質向上の一翼を担う存在を目指してまいります。本年も共に学び、成長する一年にしていきましょう。

新春特集

リーダー今年の抱負

新年あけましておめでとうございます。
同友会では「障がい者雇用」多様性の受入を単なる社会的責任としてではなく企業の成長エンジンと捉え、多様な才能が輝く未来を目指しています。さらに「人を活かす経営」を軸に障がい者雇用を核とした多様な人材の能力を最大限に引き出し、新たな革新へ導きます。

二〇二六年を「共生」の年とし、

誰もが能力を發揮し、革新を生み出す企業文化を確立しこの活動を通じて地域社会、持続可能な未来社会を牽引してまいります。

新年あけましておめでとうございます。
同友会では「障がい者雇用」多様性の受入を単なる社会的責任としてではなく企業の成長エンジンと捉え、多様な才能が輝く未来を目指しています。さらに「人を活

かす経営」を軸に障がい者雇用を



多様な才能が輝く未来を！

健障者委員長
仲本 和美

新春講演

沖縄から日本の未来をつくる ジャングリア沖縄の挑戦！

～開業から半年を経て見えてきた課題と未来～

新春の
つどい
2026

2026
1/28(水)
17:00~20:30

講師
佐藤 大介 氏

株式会社 ジャパンエンターテイメント/取締役副社長・事業開発本部長
株式会社 刀/エグゼクティブ・マーケティング&オペレーション

1999年 三井物産入社後、人事部や交通プロジェクト部、ニューヨーク駐在を経て、2004年に星野リゾートへ転職。青森の温泉旅館（現：星野リゾート青森屋・奥入瀬溪流ホテル）の再生を主導し短期間でV字回復を達成。2010年から星野リゾートトマムの責任者としてプロダクト改革やインバウンド強化を推進し、北海道を代表するリゾートへ成長させる。2015年取締役就任後、マーケティングや海外運営を統括。株式会社刀の代表 森岡毅の志と刀の組織風土に強く共感し 2019年より刀の一員に加わる。（株）ジャパンエンターテイメントにおいてJUNGGLIA OKINAWAの開業に向けて地元地域や自治体パートナー企業、教育機関らとの連携を推進。

参加申込方法

WEB フォームか参加申込書にて
お申し込みください。

申込締切
1/21
(水)

WEB参加申込

下記の QR コードからアクセスして申込者情報をご入力ください。

会員専用



⟨e.doyu QR⟩

ゲスト専用



⟨event QR⟩

パシフィックホテル沖縄 2F

沖縄県那覇市西 3-6-1 TEL 098-868-5162

内 容

第1部 「新春講演会」

17:00~18:30

第2部 「賀詞交換会・懇親会」

19:00~20:30

参加費

講演会のみ 1,000円

懇親会まで 8,000円

同友会会員・社員の場合は、原則会費口座より自動振替。ゲストの方は現金のほか
オンライン決済（クレジット・コンビニ払い・ペイジー）をご利用いただけます。

※ 1/22(木) 以降のキャンセルは、全額をご負担いただことになります。

問い合わせ先／（一社）沖縄県中小企業家同友会 〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄 1831-1 沖縄産業支援センター 603 TEL 098-859-6205



謹賀新年

「中小企業と共に歩む」金融機関より新年のご挨拶

沖縄同友会は、2016年の海邦銀行を始めに、琉球銀行、沖縄銀行、コザ信用金庫の各金融機関と包括連携協定を結んでいます。これまで定期的な打ち合わせを持ち、銀行員の例会参加や講師依頼、広報誌「ニライミライ」への寄稿など具体的な取り組みを進めてきました。

今後も各金融機関の強みを生かし、更なる経営環境の改善に繋がる取り組みにしていきます。

すべては沖縄のために
謹んで、新年のお慶びを申し上げます。
旧年中はりゆうぎんグループに対しまして、格別のお引き立て、ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
当行は昨年四月に中期経営計画「Empower2025」をスタートさせました。本計画は「すべては沖縄のために」をテーマに、沖縄の発展に当行が貢献することでともに成長する好循環サイクルを目指す内容になっております。

また、来る四月からは新本店ビルでの営業を開始致します。本年は決意を新たに、経営理念である「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展寄与する銀行」として地域の皆様の多様なニーズにりゆうぎんグループ総合力をもつて応えていく所存でございます。

結びになりますが新年を迎えるにあたり、皆様の今後益々のご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

株式会社 琉球銀行
代表取締役頭取
島袋 健



あらゆるお客様の
課題解決に
おきなわ沖縄県の経済は観光関連産業を中心成長を続けており、「GW 2050 PROJECTS」における那覇空港の機能拡張や、沖縄の基地返還跡地の開発など、沖縄県は長期的にも非常に高いポテンシャルを秘めていると考えております。産官学金が一体となったプロジェクトの進捗に向けて、当社グループも積極的に参画しております。

このような環境の下、おきなわの地域経済を支え、次の時代をつくる原動力となることを心より期待しております。

今後とも皆さまの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、新年を迎えるにあたり、皆さまの益々のご多幸とご繁榮を心よりお祈りし、新年のご挨拶と致します。

株式会社 沖縄銀行
代表取締役頭取
山城 正保



お客様のお役に立てる
一番身近な銀行
明けましておめでとうございます。
皆さま方におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。
旧年中は沖縄海邦銀行に格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

沖縄県の経済は観光関連産業を中心成長を続けており、「GW 2050 PROJECTS」における那覇空港の機能拡張や、沖縄の基地返還跡地の開発など、沖縄県は長期的にも非常に高いポテンシャルを秘めていると考えております。産官学金が一体となったプロジェクトの進捗に向けて、当社グループも積極的に参画しております。

このように、地域経済を支え、次の時代をつくる原動力となることを心より期待しております。

株式会社 沖縄海邦銀行
代表取締役頭取
新垣 一史



新年明けましておめでとうございます。
輝かしい新年を迎えたが、ましては、人手不足、物価高、賃上げ、金利上昇等、さまざま経営課題に直面されていることと拝察致します。

今、地域金融機関には「地域金融力の強化」が求められています。地域経済の持続的な発展のため、地域企業の価値向上や地域課題の解決に向けて地域金融機関が貢献することが期待されています。コザ信用金庫もFace to Faceで「地元とともに」をモットーに、沖縄県中小企業家同友会の皆さまとの連携を一層深めて参ります。

事業承継、事業再生、DX支援等皆さまと一緒に課題解決していくことを心よりお祈りし、新年のご挨拶と致します。

コザ信用金庫
理事長 喜友名 勇
Face to Faceで
「地元とともに」





講師の 田中 勉 氏

第35回経営研究フォーラム



基調講演
人間尊重の経営を根幹に据えて！
社員の自主性を伸ばす仕組みづくり組織づくり

ります。これが田中氏の人生観を変え、

「一人一人の成長が社会の成長につながる」という信念を持つようになりました。

田中氏は、会社員時代に全国を転々としていた経験から、地域密着型の企業を作ることを決意。事業内容を選ぶ際には、

誰かの役に立つことを基準に考え、最終的に医療保険を使った在宅マッサージサ

にて、第三十五回経営研究フォーラムが開催され、二百五十六名が参加しました。

第1部の基調講演は講師は㈱エイチ・エス・エー 社長 田中勉氏（神奈川同友会代表理事）を迎え、「人間尊重の経営を根幹に据えて！社員の自主性を伸ばす仕組みづくり組織づくり」をテーマに講演いただきました。

田中氏は、尊敬する父親に従い、良い学校に入り、大企業に就職し、二十五歳で結婚して子どもを二人持つという典型的なパターンに沿って生きてきました。そして、二十三歳で電通系の設備管理会社に入社し、その後、大手企業の設備管理会社に移ります。

しかし、ある時点で後輩から「これつていつまで続くんですか？」と質問されたことをきつかけに、「生きるとは、働くことは」について考え始めました。その結果、社会学を学び始め、社会の成り立ちは歴史について理解を深めるようにな

士事乞ナでなく也或社会でも協力できしる

みます。また、コロナ禍では売上が三割減少するなど大きな影響を受けましたがが、地域の保健所や行政と連携して対応し、地域社会からの信頼を確立することができました。

会社の運営においては、情報公開、合議制、選択制民主主義などの独自の制度を導入しています。特に注目すべきは「選択制民主主義制度」です。これは、毎年六月に全社員が、自己成長の目標や給与、職場環境についての希望を記入して「働く

(カラオケ同友会 島尻裕巳)

250名が参加した基調講演



親会の様子





東海岸サンライズベルト構想学習会

サンライズ支部主催



講師の 喜瀬 達也 氏

さらに、GW（ゲートウェイ）

2050構想にも言及し、長期的な視野
・5倍にするグランドデザインの全体

像を説明しました。

最後に、今回の学習会を含めて、県と
して、東海岸の各自治体との意見交換な

ど取り組みを進めていくことへの協力依
頼があり、参加者からの質疑・応答の時
間があつて終了しました。

（カラオケ同友会 島尻裕巳）



全体風景

喜瀬氏は、冒頭、沖縄県の今後を考え
る上で東海岸のみが発展することはあり
得ず、西海岸地域との連携を含め、世界、
日本、沖縄と俯瞰して長期的で大きな視
点が必要だと強調。その上で、「構想」
の概要を話し、東海岸の地域の発展の可
用性や「構想」実現のための展開を説明
しました。

また、大型MICE施設の概要にも触
れ、これまでの経緯と入札公告、特に宿
泊施設などについての今後の課題を話し
ました。そして沖縄でも始まつた人口減
少や就業者数の減少にも触れ、沖縄関係
税制の活用等で、企業における生産性の
向上を期待しました。

十一月十四日、名護産業支援センターにて、沖縄県お仕事応援センター
One×One（ワンバイワン）から、澤嶽美幸所長含め四名の方に講師として
お越しいただき学習会を開催し、十七名
が参加しました。

人を生かす委員会が企画した今回の学
習会では、One×One（ワンバイ
ワン）の取り組みや特徴などを解説して
いただき、雇用・就労支援に関する学び
を深めました。

「働きたい」という意欲はあるが、障
がい・経験の有無・家族環境などさまざ
まな状況で、就労に対し不安を抱えてい
たり、支援を必要としたりしている【希
望者】と、【事業者】をマッチングする
システムについて解説いただきました。

まずは企業実習からスタートできると
いう点をはじめ、実際の就職についても、
短時間OKだったり、特性にあつた作業
に特化してお願いできたり等、幅広い職
種の経営者が「このシステムは、自社で
も活用できるかも！」と感じることがで
きました。

参加者からは具体的に「ハローワーク
以外でこういった事業があつたことが驚
いた」「できる作業があるか、切り出す

企業実習を活用し、新たな人材を発掘 ～「働きたい」を「働ける」に変える人材との出会い方～



北部支部 人を生かす学習会

発想で考えたい」「建設業でもつながる
ことができる」、「意欲のある方が就労
できるためのサポートは、自社でもでき
るかもしれない」と気づいた」といった感
想が出ました。

実際に、学習会に参加したあと、登録
↓企業実習↓そして十二月頭から、就職
スタートした企業がありますが、One
×One（ワンバイワン）のバックア
ップのもと、スマーズに進むことができ
たそうです。

同友会ならではの「人を生かす経営」
の実践に繋がる、そんな手応えのあつた
学習会となりました。（㈱アイランドプ
ロジェクト 新井章仁）



会場全体



第30期 同友会大学

第11講

講師 南島詩人 平田大一氏

第12講

講師 沖縄国際大学 教授 前泊博盛氏

第10講 うちなーぬ肝心

—琉球の歴史と先人たちの生き方から学ぶ—

第11講 文化を基調とした地域おこし

—老いも若きも未来の宝—

第12講 沖縄政治と経済

—統計と実態の乖離の検証—



講師の崎原 真弓 氏

第10講

ついで観光バスガイドの崎原真弓氏による講義が、平和記念資料館で開催され、「動かない観光バス」と題した講話ののち、平和の礎公園を巡りました。

まず、首里城を中心にはじめてきた先人たちの暮らしとして、神々や自然への畏敬から生まれた謙虚な生き方を紹介し、「首里城を訪れるときは、先人の思いに心を寄せ、そこに流れる“よい気”を感じてほしい」と語りました。

続いて話題は、日常に根づいた「うちなーぬいさ」「いちやりばちよーでー」など、沖縄の心を表す言葉の意味を解説

しました。さらにサンシンを取り、参加者全員で『ていんさぐぬ花』を合唱しました。

そして時代は、戦争へと移ります。崎

原氏の一人芝居の形で進み、「おばー」の姿となつてあの日を語りました。胸の張り裂けるような記憶を絞り出すように語るその声に、受講生はハンカチで目元を押さえながら耳を傾けていました。防空壕で乳飲み子を失った母の苦悩。「命の宝」の言葉が、静かに胸へ刻み込まれていきます。幸せとは何か、争いは何を奪つたのか。

国籍や軍人・民間人を問わず、戦争で命を失つたすべての人々を追悼し、恒久平和を祈念して建てられた「平和の礎」になりました。沖縄に生きる人々の視点から、平和の尊さが深く印象づけられる第10講となりました。

(有)アンテナ 石原地江)

「感動産業」と獨特な感性で思い描いでいる・人は「ありがとう」を言うとき自己肯定感が上がる・舞台演出において「舞台でなく人をつくる、人づくりをしない」とは平田氏の名言。

出演者の個性を生かしていく姿勢が印象的で、中高生で構成する現代版組踊「肝高の阿麻和利」における最後の舞台挨拶で、主演した高校生がお母さんを舞台に呼び感謝の気持ちを伝える映像を見ながら高校生にアドリブで歓喜する平田氏の姿は輝いていました。

地元小浜島にて結成されたKBG84（天国に一番近いアイドル）（小浜島・ばーちゃん・合唱団・結成当時二〇一五年 平均年齢八十四歳）の結成からの出来事を紹介。過疎化が進む小浜島でお年寄りが元気を取り戻し生き生きとしていると、地域の子供達も元気になるさまを紹介しました。合唱団に入会式にはウエディングドレスで記念写真が恒例、理由は戦争で失われた青春の思い出にウエディングドレスを着て記念写真を残す、粹なイベント参加者がいかに楽しくなるか

と感じられたようです。

前泊氏はまとめとして、「日本と周辺諸国との安全保障問題は、あくまでも対話する事が大切」。外務省も経済人から貴重な情報を入手しているのだから、経済人もネットワークを構築し、周辺諸国との経済人と交流し対話の機会を増やしていく事が平和につながっていく行動にはないかと結びました。

(株)フナテック 富名腰一真)



全員集合

十一月七日、沖縄産業支援センターにて、碧の会経営学習会（経営指針・企業変革支援プログラム）が開催され、十四名が参加しました。

今回の学習会は、多くの会員に経営指針作成講座の受講を促し、会員の三十%が企業変革支援プログラム Version 2に登録するという今年度の碧の会経営委員会の目標達成に向けた啓発を目的としました。プログラムを「難しい」と感じる会員に、実践者の事例を通じて「やつてみたい」という強い動機付けを行うことをテーマとしました。

研修では、実際に経営指針を作成し、会員による体験報告と、参加者全員によるプログラムへの実践的な取り組みを中心に行いました。

（事務局）

まず、(株)TEAM沖縄 湧川洋邦社長が、経営指針作成講座受講のきっかけと魅力を報告。講座を通じて実践してきた経営が「見える化」され、銀行評価や採用に活用できている実情を熱く語りました。

続いて、(株)大城水道工事社 玉城真由美社長が、企業変革支援プログラムの活用事例を紹介。当初は意識が低かったものの、設問への真摯な回答を通じて自社の課題が明確になり、会社発展に非常に有効なツールであると確信した経緯を述べました。

その後、参加者は「導入編」として、プログラムの設問に実際に回答する実践に取り組みました。この結果、学習会終了時点で碧の会のプログラム登録者は十四名となりました。

参加者からは、「経営指針の具体的な活用法が伺えて勉強になった」「発表者全員が継続の重要性を話されていた」「湧川社長の熱い想いに感動した」といった声が寄せられ、変革への第一歩を踏み出す意欲を高める場となりました。

（事務局）

碧の会 経営学習会

**企業変革支援プログラムで
変革への第一歩を踏み出す**

研修では、実際に経営指針を作成し、会員による体験報告と、参加者全員によるプログラムへの実践的な取り組みを中心に行いました。

まず、(株)TEAM沖縄 湧川洋邦社長が、経営指針作成講座受講のきっかけと魅力を報告。講座を通じて実践してきた経営が「見える化」され、銀行評価や採用に活用できている実情を熱く語りました。

続いて、(株)大城水道工事社 玉城真由美社長が、企業変革支援プログラムの活用事例を紹介。当初は意識が低かったものの、設問への真摯な回答を通じて自社の課題が明確になり、会社発展に非常に有効なツールであると確信した経緯を述べました。

その後、参加者は「導入編」として、プログラムの設問に実際に回答する実践に取り組みました。この結果、学習会終了時点で碧の会のプログラム登録者は十四名となりました。

十一月四日の事前学習会「経営指針はなぜ必要か？」を皮切りに、第六十期経営指針作成講座がスタートしました。本期の受講生は十三社十三名。自社の羅針盤づくりに挑みます。

事前学習会は、沖縄産業支援センターで二十八名の参加で開催。はじめに経営指針作成講座の概要について、上地裕介経営副委員長（三重金属工業㈱課長）から「経営のぶれない柱」を成文化するものであり指針書の枠組みや作成後、いかにP D C Aを回し日々の経営に生かすことが大切か解説されました。続けて、第



報告する 高松 茂夫 氏



講師の 喜納 朝勝 氏

**経営指針はなぜ必要か？
第61期に向けての作成講座学習会**

二講で講師をつとめる喜納朝勝氏（株丸忠社長）から「中小企業における労使関係の見解と経営指針」をテーマに経営者の責任や考え方、社員との関係構築、最近の社会情勢について話されました。

実践報告では第五十九期修了の(株)梶（てこ）の高松茂夫社長が、講座を受けたことをきっかけにどう変わったかを発表しました。

高松氏はなんとなく同友会に参加し活かし方がわからないなか、先輩経営者のアドバイスで講座を受講。考え方や目標を対比させ、赤字を黒字化することが目標としていましたが、利益計画を明確化し黒字化へ。さらに経営理念も「社員の幸せ」を一番に考えるようになつたことや、社内で経営方針・計画を共有し、社員の表情も明るくなつてきたと、自身の変化が、社内の風通しを良くしていったと受講したことでのメリットを語りました。

受講料についても同友会外で受けられる場合と比較するなど、会場からは驚嘆の声もあがりました。

六十一期の報告会は受講生以外の参加も可能ですので、次期受講をお考えの方は、ぜひ e.d.o.y.u でご案内を確認ください。

（事務局）



第5回 新人フォローアップ研修会

‘先輩社員3名による体験報告’

十一月十七日、沖縄産業支援センターにて、第五回新人フォローアップ研修会が開催され、受講生九十六名を含む百三十八名が参加ました。今回の研修は、新人社員が抱える入社後の不安を解消し、今後の成長に繋げることを目的に、先輩社員三名による体験報告とグループ討論を中心実施しました。

まず、(株)okicom 嘉手刈祐希さんは、新人社員時代の緊張を乗り越えるための積極的なコミュニケーションの重要性を強調。また、失敗経験から学んだ「どんなに忙しくても確認作業を徹底すること」の大切さを説き、些細なミスが大きな事故につながり得ることを改めて参加者に認識させました。仕事のやりがいについては、お客様からの感謝の言葉や、自身の成長を実感できた時だと述べ、モチベーションの維持方法を伝えました。

次に、(株)ワイヤリゾート沖縄 佐久間ひなさんは、「常に考えること」の重要性を力説。「考えるのをやめてしまうと成長が止まる」という言葉は特に印象的で、状況に応じた柔軟な判断と、先を読んで行動する主体的な姿勢が、仕事の質を高めるとアドバイスしました。

そして、(株)近代美術 新名美彩子さんは、「今できること」を率先して行うことの大切さを報告。「何をしたらいいか分から



先輩3者による体験報告

続くグループ討論では、「仕事の悩み」や「これまでにできしたこと」を共有。職種の垣根を超えて共通する悩みを分かち合い、互いの小さな成功を称え合うことで、連帯感と前向きな気持ちが生まれました。参加者一同、今回の研修で得た貴重なアドバイスと学びを胸に、残りの研修期間、そして二年目以降も初心を忘れず、一歩ずつ成長していく決意を新たにしました。

(事務局)

誰でもできることを積極的に行うべきだと強調。さらに、仕事だけでなくプライベートとのバランスを取ることの重要性にも触れ、「感謝されるためではなく、自分のために行動する」という言葉は、参加者の仕事への向き合い方を再考させるきっかけとなりました。



講師の玉城次博氏

十一月十八日、沖縄産業支援センターにて第二十四期社長・社員共育塾第四講が開催され、受講生と付添者一〇九名が参加し、マエダ電気工事(株)工事部長・玉城次博氏を迎、「ゼロからの挑戦!リーダーデバイスと学びを胸に、残りの研修期間、になりたい!」中卒から部長になるまで、私の生き様とチームづくり」をテーマに講義が行われました。

(株)ハルモニアグランデ 小橋川牧



グループ討論

玉城氏が語ったのは「仕事をすること」そのものの深い愛でした。高校中退から同社へ入社し、会社に貢献したい一心で最速で一級電気工事施工管理技士を取得。その後は、他社が敬遠する二十四時間対応の緊急業務を担当し、過酷ながら得るものの大い日々を過ごしたといいます。

課長昇進の際には、信頼関係性を築くために「自分以上に部下を思って頑張ろう」と決めたことが転機に。部長に昇進した際には「社長の一番の理解者になる」と心に決め、社長と部下の両方と思いを

共有することで、組織全体との関係性を築いていったとのことでした。

特に印象的だったのは「会社には感謝しかない」という言葉。自分を採用し、育てて、部長に任命してくれた、その期待に応えたという熱い思いは、全ての受講生の胸を打ちました。

グループディスカッションを経た発表では、玉城氏の強い思いが「自分ごと」から「みんなのために」スライドしていくことが今の会社を支えているという意見が出たように、リーダーの思いが組織の未来を形づくることを、強く認識できました時間となりました。

では、玉城氏の強い思いが「自分ごと」から「みんなのために」スライドしていくことが今の会社を支えているという意見が出たように、リーダーの思いが組織の未来を形づくることを、強く認識できました時間となりました。

では、玉城氏の強い思いが「自分ごと」から「みんなのために」スライドしていくことが今の会社を支えているという意見が出たように、リーダーの思いが組織の未来を形づくることを、強く認識できました時間となりました。

社長・社員共育塾 第4講

組織づくりの要は、社長と部下の
思いに寄り添い、理解すること

「健康なうちの一次予防」に 軸足を置くユニークな事業モデル



新崎 直和 氏

モデル事業がない中の挑戦。 産業保健×健康経営

理学療法士として約15年間、リハビリに従事し、「病気や障害が起きた後」にしか関われない事へのもどかしさを強く感じてきました。入院や障がいが家族・社会に与える影響の大きさを目の当たりにし、「そもそもそうならないように支援したい」という思いが大きくなりました。「現役で働く世代」を守る仕組みが手薄だと感じ、「働く世代の健康づくり」をテーマに友人3名と起業しました。

モデル事業がない中、情熱だけで起業した感じです。経営の難しさを知らなかつたことで逆

に踏み出すことができたと思います。サービスの説明と人脈構築に時間を使い、通帳の残高が減っていく中、精神的に厳しい時期もありました。事業内容は企業訪問しセミナー、グループ運動、体組成測定（筋肉量・脂肪量など）、データを用いた企業分析を軸に業種や企業の風土によって言葉遣い・資料構成・運動種目を企業の目標（意識変容、チームビルディング、個別課題解決など）に合わせてカスタマイズしていきます。

基本的には一年契約の伴走支援を行ない、新しい課題があれば更新提案をします。理想は企業の自立（運動・データ管理の自立化）。健康経営=生産性の物語を企業へ提示し、経営者の健康投資の合理性を支える事ができると考えています。支部報告のアドバイスでお求めやすい価格と価値提供を創り年次契約の更新が増加。「次もお願ひね」と言われる関係性を目指しています。

同友会で中小企業ニーズの発見 !!

経営体験を聞く環境や経営者同士の助言・フォローがある安心感があり、人を軸に学ぶ場が



伊波 浦添てだこ支部幹事長 体験訪問にて



会員ホット情報

今おすすめだよ!

あることが魅力です。人を大事にする経営哲学が合っていると思います。同友会で学ぶ経営者は社員さんを大事に思っていることがわかりました。しかし、健康への意識は高くない。中小企業内なら健康意識の低い人や将来リスクのある人に「元気な段階で」出会い「従業員への思い」を重視する中小企業のほうが健康経営を受け入れやすいと思いました。

将来はどのような企業を目指していますか？

同友会で理念や経営計画書の重要性が理解できたので、これから経営指針作成講座を受講しようと思います。企業の健康志向や健康投資文化が広がれば、働き盛り層の健康寿命が伸び、医療費適正化につながります。今後は、この事業を全国やアジアに広げていきたいと思います。

((同) Green Star OKINAWA

友寄利津子)

《会社概要》

(株) LIM Project

社長 新崎 直和 氏

〈浦添てだこ支部〉

所在地／北中城村ライカム554

ペアーズコート

ライカムグランデ601

TEL／090-6890-7266

事業内容／健康運動コンサルティング（労働災害、生活習慣病対策事業）



コースNo. 146

NEW

中小企業大学校

—“売れる”魅力的な店舗づくりのポイントを学ぶ—

1日でわかる店舗づくり講座

【沖縄教室】

人吉校

企業経営・経営戦略

研修のねらい

消費者の多様化、原価高騰による価格競争など、変化や競争の激しい市場では、ニーズやトレンドを把握し、適切な商品を適切なタイミングで提供する必要があります。また、適切な商品構成や価格設定、売り場づくりを通じて、いかに自社の商品・サービスの魅力を消費者に訴求するかが重要となります。

この研修では、消費者ニーズやトレンドに対応するために必要な戦略を学ぶとともに、自社の商品・サービスを魅力的に消費者へ訴求する店舗づくりのポイントを学びます。

研修期間

2026年 [1日間 / 7時間]

2/19(木)

対象者

経営幹部・管理者・新任管理者

・その候補者

- 店舗運営の基本を学びたい方
- 店舗づくりや販促を見直したい方
- 自社の商品、サービスを魅力的に訴求したい方

定員 20名

受講料 16,000円(税込)

会場

沖縄産業支援センター

沖縄県那覇市字小禄1831番地1



月 日	時 間	科 目	内 容
2/19 木	9:45- 10:00	オリエンテーション	
	10:00-11:00	店舗づくりとは	店舗づくりに必要な基礎知識を学びます。 ・ 売れないのはなぜか ・ なぜ店舗づくりが重要なのか ・ マーチャンダイジングとは
	11:00-12:30	ストアコンセプトの重要性	ストアコンセプトの重要性を学び、自社の店舗コンセプトを見直します。 ・ ストアコンセプトとは ・ ストアコンセプトの重要性 ・ ミニ演習（ケーススタディ） ・ 自社のストアコンセプトを見直そう
	13:30-15:00	店舗施設の基本	店舗施設管理に必要な基礎知識を学びます。また、持参いただいた店舗外観・店内写真を見て、見直したストアコンセプトとの違いを確認します。 ・ 店舗の役割、機能とは ・ 店舗外観の基本 ・ ストアデザインとストアコンセプト ・ 見直したストアコンセプトとのギャップを見てみよう
	15:00-17:00	店舗レイアウト設計のポイント	店舗レイアウトの基礎知識、作成プロセスを学びます。 ・ 売り場づくりの基本 ・ 店舗レイアウトの作成プロセス ・ 客動線調査の仕方 ・ 競合店調査
	17:00-18:00	自社の店舗改善計画の作成	これまで学んだことを振り返り、自社の店舗改善計画を作成します。また、効果測定の仕方について学びます。
	18:00-18:10	修了証書交付	

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

講師紹介（敬称略）

渡邊 [綾] 中小企業診断士事務所
代表

渡邊 綾子 (わたなべ あやこ)

株式会社マイカル（現イオン株式会社）入社。店舗（部門チーフ）経験後、本社マーケティング戦略室・新事業開発担当、商品戦略部・新業態開発担当、商品本部バイヤー・マーチャンダイザーを経て2004年に退社。
2005年に中小企業診断士登録。現在は、流通・サービス業に特化した情報システム企業で、調査分析・営業推進を担当。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
Be a Great Small.
中小機構

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
中小企業大学校 人吉校

〒868-0021 熊本県人吉市鬼木町梢山 1769-1
TEL: 0966-23-6800 (平日 9:00 ~ 17:30)
FAX: 0966-22-1456

お気軽にお問い合わせください。
人吉校 検索

